

令和 3 年度

自己点検・自己評価 報告書

社会福祉法人 周山会  
富山医療福祉専門学校

# 令和3年度 自己点検・自己評価

## I. 教育理念

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	✓		
2. 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	✓		
3. 教育理念並びに教育目標は必要に応じて見直されているか	✓		
4. 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか		✓	

### <取り組み内容>

教育理念「知識力、人間性、対応力で有用の人に」を踏まえ、教育目標「健康増進から看取りまでの広範囲で多様な健康問題に対応できる人材の育成」と三つの教育方針（「卒業時の称号（専門士・高度専門士）授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、そして「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」）が学校パンフレット、履修ガイドに示してある。

これらは毎年、学生評価、外部評価、自己評価を受け、見直しを行っている。体験入学や在校生へのオリエンテーションなどにおいて説明を行っている。

### <課題と今後の対策>

学生への浸透についての確認が課題である。

教員間の共有、周知活動の継続と学生浸透に関する評価（学生アンケート）の実施に取り組む。

## II. 教育活動

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. カリキュラムは教育目標が反映されているか	✓		
2. 定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	✓		
3. テキストや教材は適切なものを選定しているか	✓		
4. シラバスが作成され学生に配布されているか	✓		
5. 授業の点検・評価が適切に実施されているか		✓	
6. 資格試験の合格率は	✓		
7. 資格試験不合格者の対策は	✓		
8. 評価は適切な方法で行われているか	✓		
9. 目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	✓		
10. 単位認定、卒業の判定審査は適切に実施されているか	✓		

### <取り組み内容>

教育目標、教育方針からカリキュラムが作成されており、年末に見直しの検討を行っている。

学生、父兄、関係各所と情報共有が図れるように健康管理に関するマニュアル、登校基準、対応フローチャートなどを作成し、HPにて情報公開。新型コロナウイルス感染予防の教育、教育体制の提供により安全・安心して学習が行えている。経済的な問題だけでなく、学習意欲を継続させることが困難な学生もいるため、個別の学習相談・サポートも行っている。

### <課題と今後の対策>

授業評価は紙・Google フォームで行ったが、回収率が低かった。（昨年度は 100%）

授業評価の時期・時間を検討し、目的説明、案内を丁寧に行う。

### Ⅲ. 学生受け入れ

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. 学生募集のための広報資料の表現・内容は適切か	✓		
2. 学生募集のための広報活動の方法・時期は適切か	✓		
3. 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	✓		
4. 募集要項の内容は適切か	✓		
5. 学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	✓		
6. 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	✓		
7. 志願者状況、定員充足率は目標に達しているか		✓	
8. 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	✓		

#### <取り組み内容>

高校への訪問、体験入学、案内などでの広報活動は、コロナ禍の影響で一部、オンライン・ハイブリッド開催に変更となり充分に行えないことが多かった。入学試験では感染予防策を徹底し、全日程行うことができた。

今年度、介護福祉学科では日本語学習応援制度<外交人留学生向け>として、留学生のための特別報奨金制度を設けて募集活動を行えたが、コロナ禍での入国制限などにより受験に結びつかなかった。

#### <課題と対策>

入学志願者の減少。入学辞退などによる定員充足率の減少。

各学科の特色をもったカリキュラム、3学科合同での多職種教育について広報活動を行う。

給費特待生制度を設置し広報活動を行う。

## IV. 教職員組織

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. 専任教員は設置基準を満たしているか	✓		
2. 専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	✓		
3. 教職員の業務分掌は明確になっているか	✓		
4. 教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか		✓	
5. 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	✓		
6. 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	✓		

### <取り組み内容>

担当科目数、業務負担の確認を各学科長が行っており、課題等については、会議にて検討、問題解決を図っている。

学生・教職員のワクチン接種のための休暇整備。コロナ禍での在宅勤務体制の推奨。看護休暇・介護休暇が時間単位で取得できるようになり、教育活動に支障がない範囲での社会支援活動、有給休暇の取得が行えるよう設定している目標値を着実にクリアしてきている。

### <課題と対策>

コロナ禍で資質向上のための教育研修等はオンラインとなり、学会参加、研究活動は推奨している程度で個人差がある。また、感染状況に応じて勤務体制が変化することから定期的な教職員評価が困難。

ICTを活用した教育研修活動・教職員評価の推奨とICT活用のための支援整備を行う。

## V. 施設・設備等

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. 実習設備は整備されているか	✓		
2. 講義室・実習室の管理は適切に行われているか	✓		
3. 学生が自学自習できるスペースを有しているか	✓		
4. 図書室は適切に整備されているか	✓		
5. 保健室は適切に整備されているか	✓		
6. 教育用機器備品は整備されており活用されているか	✓		
7. 教員室の管理は適切に行われているか	✓		
8. 事務室の管理は適切に行われているか	✓		

### <取り組み内容>

教育に関する備品等については富山県学校施設設備整備費補助金を活用するなど、施設設備の修理・交換等を計画的に行っている。コロナ禍における教育維持に必要な ICT 環境整備として高速回線への引き替え、Wifi 環境整備を行った。大雪で破損した駐輪所の屋根の修理を行った。故障した空調設備の交換を行った。省エネ対策・LED 切替等を行った（全国版【省エネ事例集 2021】に当校掲載）。

### <課題と対策>

今後予想される設備の経年劣化による修理・交換（空調設備の修理交換、図書・PC の更新など）計画的に施設設備の修理・交換を行っていく。省エネと地域に根ざした教育機関としての取り組みの推進（SDGs：全てのひとに健康と福祉を、質の高い教育をみんなに、働きがいも経済成長も）。

## VI. 学生生活支援

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. 奨学金等、経済的支援は整備されているか	✓		
2. 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	✓		
3. 健康管理に関する体制が整備・機能しているか	✓		
4. 各学校行事について、適切な支援を行っているか		✓	
5. 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か		✓	
6. 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	✓		
7. 新たな求人開拓の努力をしているか		✓	

### <取り組み内容>

周山会（法人）からの奨学金の貸与をはじめとする各種奨学金等の案内を行っている。また、次年度の入試にあわせて給費特待生制度を設置し、経済的支援体制を整えている。

学校行事として学習交流会はオンラインで開催できた。学園祭については実施できず、開催方法について学生のオンラインでの話し合いを担当教員が支援し、次年度の開催方法、内容について検討している。

### <課題と対策>

コロナ禍での登校制限よりカウンセリングの利用が減少、学生評価の低下。防犯・防災訓練等が実施できず、指導のみとなった。

オンラインでのカウンセリングの整備、防犯・防災教育の実施。

## VII. 管理・運営

評価項目	できている	一部できている	できていない
1. 運営会議・教育会議等は適切に開催され、機能しているか	✓		
2. 就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	✓		
3. 就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	✓		
4. 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	✓		
5. 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	✓		
6. 個人情報保護法を遵守しているか	✓		
7. ハラスメント（セクシャルなど）に対する防止・対応策が整備されているか	✓		
8. 財務諸表は適切に作成、管理されているか	✓		

### <取り組み内容>

運営会議・教育会議等は定期的に開催されており、コロナ禍において対面での開催が困難な場合はオンラインで行っている。その他メール、LINE を活用し情報共有を図っている。教職員間のコミュニケーションにより、業務効率化、意識改革を行った結果、残業時間を大きく削減でき、休暇取得率が向上できた。

クラスター防止の観点から共有スペースの利用制限、学科棟の移動制限を行っているため、組織間の連携が難しいこともあったが、新型コロナウイルス感染対応への注意喚起により学生からの連絡相談が行われ、学内での見守り等リスク管理がほぼできていた。

### <課題と対策>

各種ハラスメントに対する相談窓口の周知や相談の方法等について、具体的な手順の確認が必要。

文書は貼付してあるが、効果は不明。

ハラスメントに関する倫理規定、委員会等の整備と防止・対応策の周知。